YAMAHA

Electone STAGEA

ELS-01/01C/01X (typeU) バージョン1.83
追加機能説明書

バージョンアップにともない、ELS→EL変換機能を使って変換したソングを、USBフラッシュメモリーに保存し、EL-900などのELシリーズのエレクトーン本体に取り付けたMDR-5(別売)で使用できるようになりました。
本書を、ELS-01/01C/01X (typeU) 取扱説明書7章の「ELS→EL変換機能」のページと読み替えてご活用ください。

ELS→EL変換機能

このエレクトーン用のソングを、EL-900などのELシリーズのエレクトーンでも使用できるソングに変換します。
変換後のソングを、MDR-5で使用する場合はUSBフラッシュメモリーに、ELシリーズのエレクトーン本体で使用する場合はフロッピーディスクに、保存してください。
フロッピーディスクに保存する場合は、別売のフロッピーディスクドライブUD-FD01を取り付けておく必要があります。
メディア(USBフラッシュメモリーやフロッピーディスク)の空き容量が足りない場合は、変換できません(画面にエラーメッセージが表示され、処理が中断されます)。
あらかじめ、空き容量が十分あることをご確認ください。
また、市販のデータやインターネットから購入したデータなどのプロテクトソングは、ELS→EL変換できません。

NOTE
MDR-5の使い方は、MDR-5に付属の取扱説明書をお読みください。

関連ページ
フロッピーディスクドライブUD-FD01の取り付け(取扱説明書14章)
プロテクトソングについて(取扱説明書7章)

NOTE
ユーザーボイス、ユーザーリズム、およびキーボードパーカッションのアサインとセットアップは、ELシリーズのエレクトーンの初期設定に変換されます。

NOTE
このエレクトーン用のソングをELB-01で使用する場合は、ソングを変換する必要はありません。

NOTE
変換後のソングをUSBフラッシュメモリーに保存する場合、F01～F99の各フォルダーに保存できるソングの最大数は、99ソングです。

1 変換後のソングを保存するメディアを挿入口に差し込みます。

変換後のソングをフロッピーディスクに保存する場合:
手順2へ進んでください。

変換後のソングをUSBフラッシュメモリーに保存する場合:

1-1 **ソングを保存するUSBフラッシュメモリーを選びます。**
メディアの選択については、取扱説明書7章「2 MDR画面の操作」をご覧ください。

1-2 USBフラッシュメモリーの中にフォルダーを1つ作成し、F01～F99のいずれかの名前を半角で付けます。

MDR-5でソングを使用するには、ソングがF01～F99フォルダーに入っている必要があります。フォルダーの作成については、取扱説明書7章「2 MDR画面の操作」、フォルダーの名前の付け方は取扱説明書7章「6 ソングに名前をつける」をご覧ください。

NOTE

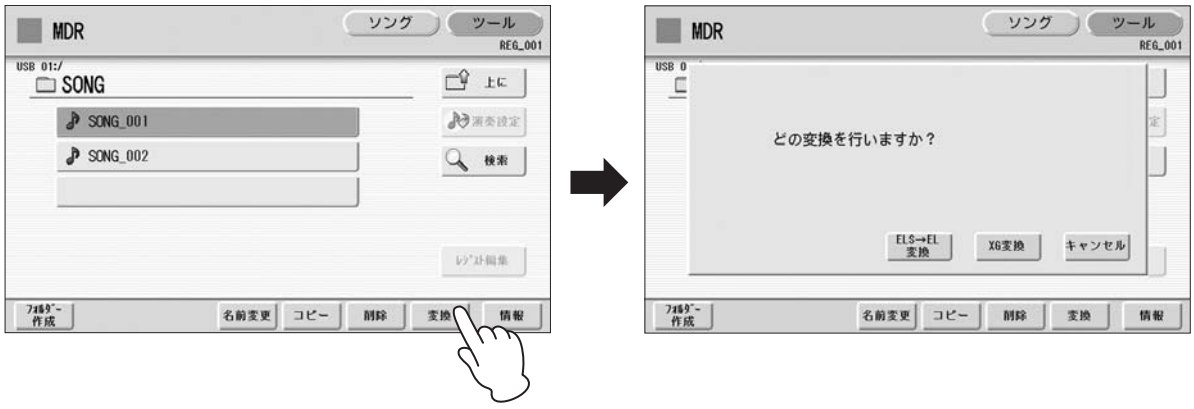
変換後のソングをフロッピーディスクに保存する場合、ソング名に、ELシリーズで使用できない文字(全角文字など)が入っていると、ELシリーズで使用できない文字は「??」に置き換えられます。

2 ELシリーズの形式に変換したいソングを選びます。

ソングの選択については、取扱説明書7章の「4 ソングを選ぶ」をご覧ください。

3 ツールページで[変換]ボタンを押します。

「どの変換を行いますか？」というメッセージが表示されます。



4 画面の[ELS→EL変換]ボタンを押します。

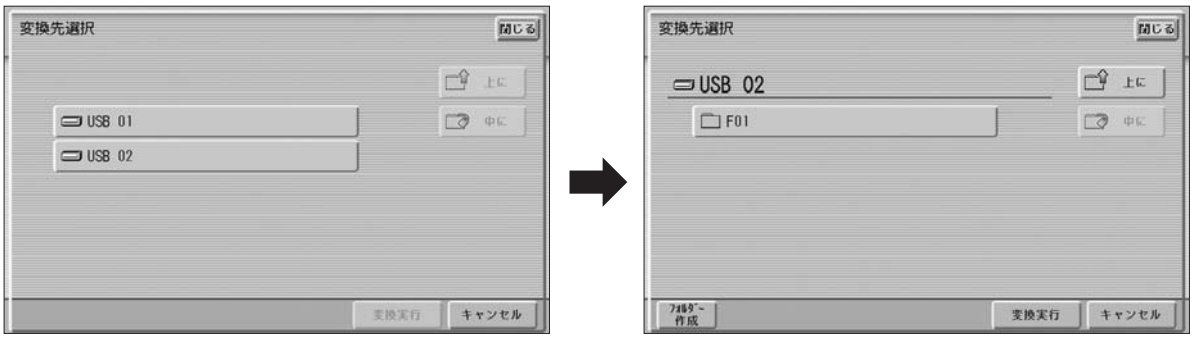
複数のレジストレーションデータが入っているソングを変換してフロッピーディスクに保存する場合は、レジストレーションデータの数と同じだけの連続した空きソングが必要です。

5 変換後のソングの保存先を指定します。

変換後のソングをフロッピーディスクに保存する場合:
下記の画面が表示されます。手順6へ進んでください。



変換後のソングをUSBフラッシュメモリーに保存する場合:
保存先のUSBフラッシュメモリーを選んだあと、手順1で作成したフォルダー(F01～F99のいずれか)を指定します。



6 画面上の[変換実行]ボタンを押します。

ELS→EL変換が実行されます。

U.R.G., Digital Musical Instruments Division
© 2011 Yamaha Corporation